

3年間で学習する授業科目一覧表

教育内容		授業科目	単位	時間	科目のねらい
基礎分野	科学的思考の基盤	生命科学Ⅰ	1	15	・生物と細胞・ウイルス、遺伝、生体防御機能及び生物の恒常性について学ぶ。
		生命科学Ⅱ	1	15	・生命の起源と進化、生物の寿命、性別、遺伝子の異常及び人類の起源について学ぶ。
		論理的思考	1	30	・論理的思考及び文章表現について学ぶ。
		倫理学	1	30	・生命の尊厳、人権尊重及び医療現場における倫理的課題について学ぶ。
		情報科学	1	30	・情報機器を活用できる能力を養い、情報の重要性について学ぶ。
	人間の生活・社会の理解	保健体育	1	30	・生涯にわたる運動の必要性を理解し、その理論と実践を学ぶ。
		家族論	1	30	・現代における家族形態、家族観の変化及び家族の課題とその支援について学ぶ。
		地域活動	1	15	・地域を知り、地域の中で自己の持てる力を差し出す。
		文化人類学	1	30	・異文化における人々の生活習慣、健康・病気についての考え方を学ぶ。
		英語	1	15	・外国人患者にも的確な対応ができるように必須な表現を覚える。
		英会話	1	15	・外国語に親しみ、日常生活における表現能力を身につける。
		人間関係論	1	30	・人間関係に関する基礎理論及び人間関係における諸問題を解決する知識と能力を学ぶ。
		カウンセリング理論	1	15	・人間関係をつくる理論と技法を学ぶ。
		教育学	1	30	・教育内容や機能・制度のあり方を学びながら、看護と教育の関わりを考察する。
専門基礎分野	人体の構造と機能	形態機能学Ⅰ	1	30	・ホルモン、心臓と血管及び脳や神経等のヒトのからだのしくみを学ぶ。
		形態機能学Ⅱ	1	30	・ガス交換、骨格と筋、消化器及び腎泌尿器等のヒトのからだのしくみを学ぶ。
		栄養・代謝	1	30	・生命現象を可能にしている化学変化や体内の恒常性維持機構について学ぶ。
		看護形態機能学	1	30	・命を支えるからだのしくみと看護の視点を学ぶ。
	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	1	30	・疾病の成り立ちと人体に生じる変化について学ぶ。
		治療概論Ⅰ	1	30	・診断と治療の基礎的知識を学ぶ。(臨床検査・放射線療法・手術療法・リハビリテーション・医療機器)
		治療概論Ⅱ	1	30	・薬物の特徴、作用の基礎知識及び薬物の管理について学ぶ。
		治療概論Ⅲ	1	30	・微生物の生態を学び、人体に及ぼす影響や反応及び滅菌・消毒に関する知識を学ぶ。
		病態治療論Ⅰ	1	30	・呼吸器系と感覚器系(耳鼻咽喉)の病気の原因、病気における形態・機能の変化、検査、治療について学ぶ。
		病態治療論Ⅱ	1	30	・循環器及び血液・造血器系の病気の原因、病気における形態・機能の変化、検査、治療について学ぶ。
		病態治療論Ⅲ	1	30	・消化器系と運動器系の病気の原因、病気における形態・機能の変化、検査、治療について学ぶ。
		病態治療論Ⅳ	1	30	・内分泌・代謝と腎・泌尿器系の病気の原因、病気における形態・機能の変化、検査、治療について学ぶ。
		病態治療論Ⅴ	1	30	・脳・神経系と感覚器系(眼)の病気の原因、病気における形態・機能の変化、検査、治療について学ぶ。
		病態治療論Ⅵ	1	30	・小児の成長発達と特有な病気の原因、診断、治療について学ぶ。
健康支援と社会保障制度	医療論	1	15	・医療の本質や歴史・倫理及び医療の抱える今日的な問題について学ぶ。	
	公衆衛生学	1	15	・人と環境との関わりが健康に及ぼす影響を理解し、社会における組織的な保健活動について学ぶ。	
	社会福祉	1	30	・社会福祉の概念を理解し、社会保障制度及び社会福祉援助活動について学ぶ。	
	関係法規	1	20	・看護に必要な法規を学ぶ。	
	臨床栄養学	1	15	・ライフサイクルにみあった食事と健康障害の特徴における食事療法について学ぶ。	
	チーム医療の基礎	1	30	・他職種の役割・機能とチーム医療について学ぶ。	
専門分野	基礎看護学	看護学原論	1	30	・看護の全体像と看護の役割及び科学的看護論に基づいた看護の考え方について学ぶ。
		看護基本技術	1	30	・看護技術の概念と看護場面に共通する観察・記録・報告、看護倫理及び安全と安楽についての技術を学ぶ。
		コミュニケーション	1	30	・患者や医療従事者との関わりが自然にもてるようにコミュニケーション力を育む。
		フィジカルアセスメント	1	30	・健康障害をもつ対象を把握し、アセスメントする技術を修得する。
		日常生活援助技術Ⅰ	1	30	・生活環境及び運動と休息のバランスを整えるための基本となる援助技術を学ぶ。
		日常生活援助技術Ⅱ	1	30	・寝衣交換、清潔に関する基本となる援助技術を学ぶ。
		日常生活援助技術Ⅲ	1	30	・食と排泄のバランスを整えるための基本となる援助技術を学ぶ。
		診断・治療を助ける援助技術Ⅰ	1	15	・診察、感染予防、呼吸循環を整えるための基本となる援助技術を学ぶ。
		診断・治療を助ける援助技術Ⅱ	1	30	・与薬、検査に関する基本となる援助技術を学ぶ。
		看護を展開する技術	1	30	・対象の見つめ方と看護を展開する方法について学ぶ。
	臨床判断の基礎	1	30	・科学的根拠に基づいた臨床判断を行う方法について学ぶ。	
	地域・在宅看護論	西尾市の暮らし	1	30	・西尾市の歴史・文化、地域の暮らしと地域で生活する人々の価値観・信条について学ぶ。
		暮らしを支える看護Ⅰ	1	15	・在宅看護の目的・対象・機能・場所を学ぶとともに、訪問看護の実際を見学する。
		暮らしを支える看護Ⅱ	1	15	・地域包括ケアシステム、地域包括支援センター・保健センターの活動について学ぶ。
暮らしを支える看護方法Ⅰ		1	30	・在宅での日常生活援助について学ぶ。	
	暮らしを支える看護方法Ⅱ	1	30	・在宅で医療処置を必要とする人の看護について学ぶ。	
	暮らしを支える看護方法Ⅲ	1	15	・在宅看護における看護の展開方法について学ぶ。	

教育内容		授業科目	単位	時間	科目のねらい
43 単位 1125 時間	成人看護学	成人の健康を支える看護方法Ⅰ	1	30	・健康危機状況にある対象の看護について学ぶ。
		成人の健康を支える看護方法Ⅱ	1	30	・セルフケア再獲得を目指す対象の看護について学ぶ。
		成人の健康を支える看護方法Ⅲ	1	30	・セルフマネジメント支援を必要としている対象への看護について学ぶ。
		成人の健康を支える看護方法Ⅳ	1	30	・人生の最終段階にある対象の看護について学ぶ。
	老年看護学	高齢者の生活と看護の基礎	1	15	・高齢者と高齢者を取り巻く社会生活について学ぶ。
		高齢者の生活と看護方法Ⅰ	1	30	・高齢者の生活理解と日常生活の援助方法について学ぶ。
		高齢者の生活と看護方法Ⅱ	1	30	・老年期にある人の健康障害の特徴、治療・療養の場における看護を学ぶ。
	小児看護学	こどもの成長発達と健康	1	15	・こどもを取り巻く社会と環境を理解し、看護の役割について学ぶ。
		こどもの成長発達を支える看護方法Ⅰ	1	30	・こどもの成長発達を理解し、こどもとその家族の状況に合わせた看護について学ぶ。
		こどもの成長発達を支える看護方法Ⅱ	1	30	・健康障害をもつ子どもとその家族を理解し、対象に応じた看護を学ぶ。
	母性看護学	リプロダクティブヘルスと看護	1	15	・母性の特性と女性のライフサイクル各期の特徴を理解し、リプロダクティブヘルスの支援について学ぶ。
		生命の育みを支える看護方法Ⅰ	1	30	・妊娠期の母体及び胎児の特徴、分娩各期の看護及び出生直後から新生児の特徴と看護について学ぶ。
		生命の育みを支える看護方法Ⅱ	1	30	・新生児の看護技術、産褥期の特徴と看護及び母子を支える看護について学ぶ。
	精神看護学	心の健康と生活Ⅰ	1	30	・人間の発達、各年齢層の患者の特徴と看護について学ぶ。
		心の健康と生活Ⅱ	1	30	・精神の発達と精神保健について学ぶ。
		心の健康と生活を支える看護方法Ⅰ	1	15	・精神に障害を持つ対象の理解とその看護について学ぶ。
		心の健康と生活を支える看護方法Ⅱ	1	15	・精神疾患や症状のある患者の看護について学ぶ。
	看護の統合と実践	リフレクションⅠ	1	30	・プロジェクト学習とリフレクションの方法と実際を学ぶ。
		看護管理概論	1	30	・看護管理・マネジメント、キャリア開発を学び、キャリア形成を考える。
		災害看護と国際看護	1	30	・施設内看護から視野を広げ、災害時・救急時の看護や国際看護を学ぶ。
		看護の統合と実践	1	30	・基礎的な知識・技術を統合し、対象に応じた看護について学ぶ。
	複数の教育内容を併せて教授する科目	ライフステージと健康支援	1	15	・健康の保持増進と疾病予防について学ぶ。
		健康段階別看護	1	30	・健康の回復に向けた看護、健康問題・健康課題を明確にする思考過程について学ぶ。
周術期と看護		1	30	・周術期における特徴的な治療法に対する看護について学ぶ。	
終末期と看護		1	15	・その人らしい生を全うするための必要な看護援助について学ぶ。	
リフレクションⅡ		1	30	・自己の看護の振り返りと意味づけをする。	
専門分野（臨床実習）	基礎看護学	看護の基礎実習Ⅰ	1	45	・受持患者に必要な日常生活援助を実践し、患者を理解し必要な看護を考える。
		看護の基礎実習Ⅱ	2	90	・受持患者に必要な看護を理解し、受持患者の看護を計画的に展開する。
		看護の基礎実習Ⅲ	2	90	・臨床判断を活用し、受持患者にとって必要な看護を考える。
	地域・在宅看護論	暮らしを支える看護実習	2	90	・病院から在宅療養へ移行する人々、在宅療養をしている人々への看護の実際を見学・体験する。
	成人・老年看護学	健康危機状況の看護実習	2	90	・健康危機状況にある対象の看護を実践する。
		人生の最終段階の看護実習	2	90	・人生の最終段階にある対象の看護を実践する。
		専門職連携実習	2	90	・回復期にある対象へ多職種と連携・協働し看護を実践する。
	老年看護学	高齢者の生活を支える看護実習	2	90	・施設で生活する高齢者の看護を実践する。
	小児看護学	こどもの成長発達と健康を支える看護実習	2	90	・こどもの成長発達を捉え、こどもと家族への看護を実践する。
	母性看護学	生命の育みを支える看護実習	2	90	・母親役割獲得過程にある対象への支援を考える。
精神看護学	心の健康と生活を支える看護実習	2	90	・精神を病む人の看護の実際を学ぶ。	
看護の統合と実践	看護の統合実習	2	90	・臨床現場における看護を統合的に理解する。	
総計			103	3125	